



西京区 京都市会議員

河合ようこ

Kawai Yoko

いつでも、
地域の声を出発点に。
みなさんに支えていただき、議員として11年、働かせていただきました。
地域での要望、くらし・現場の実態を議会に届けてきました。
平和・いのち・暮らしを守り、充実を！とがんばります。

URL <http://kawai-yoko.jp/>

✉ shikai@kawai-yoko.jp

京都市西京区榎原蛸田町52-9 TEL075-392-0820

🐦 @yokokawai

📘 facebook 河合ようこ 検索

河合ようこ

Kawai Yoko

Profile

- 1962年 兵庫県篠山市生まれ。
- 1982年 龍谷大学短期大学部社会福祉学科卒。
- 1982年 共同学童保育所指導員。
- 1983年 川島保育所保育士(2003年)。
- 1991年 福祉保育労働組合西京支部
委員長・地本書記次長。
- 2003年 市会議員(3期)。
- 2013年 市会教育福祉委員。
- 2014年 市会まちづくり委員。



家族：夫と一女
趣味：歌を歌うこと、
山登り
好きな花：たんぽぽ

安心して住み続けられる西京区・京都市にするために、
みなさんのご意見・ご要望をぜひ聞かせてください。
くらしや子育てなど何でもお気軽にご相談ください。

日本共産党 西京生活相談所

TEL:075-392-3546 FAX:075-393-8988

2014年3月

日本共産党京都市会議員団

京都市中京区河原町御池 京都市役所内
TEL. 222-3728 FAX. 211-2130

E-mail. info@cpgkyoto.jp
京都市会議員団 検索

安心して すみ続けられる 西京区に



洛西で相次ぐ 水道管事故 補償とライフライン確保を

2011年6月に、洛西ニュータウンで水道管破裂・ガス管事故が発生しました。「ライフラインが絶たれる大変さを実感した」「市の対応が遅い」等の現地の声を聞き、「住民へのお詫びや事故の補償を」「一刻も早い水道管の取替えを」と、事故直後から京都市への要望をおこなってきました。

京都市は、「平成24・25年の2年計画でニュータウン内の水道管をすべて取替える」との方針で、水道管の取替え工事を5つの区間に分けてすすめてきました。

住民への必要な補償をおこなうよう市に要望するとともに、「申請がまだの方は今からでも手続きを」と、住民にお知らせしてきました。洛西での水道事故はその後も相次ぎ、老朽管対策を急ぐよう、たびたび市に要請しました。



西京区民の足＝バスを もっと便利に!

地下鉄が通っていない西京区ではバスが大切な区民の足です。「市バスの本数を増や



水道管事故申し入れ
(2011年8月)



成宮まり子府会議員と上下水道局に
要望 (2011年6月)

して」「一日乗車券が使えるように」「運賃が高い」「市バスが不便な所からは「民間バスにも敬老乗車証を使えるようにしてほしい」との要求が切実です。私は議会で、繰り返しこの問題を取り上げて質問してきました。今年3月22日から、一日乗車券も使える均一区間が嵐山・松尾の一部に拡大されました。さらに拡大されるよう求めます。

2012年10月には「市民の足を守る西京連絡会」が結成され、バスを便利にする運動の交流、京都市やバス事業者への要望、懇談などに取り組まれています。「区役所にバスでいけるようにしてほしい」「ここにもバス停を」など、バスの要望はつきません。

バス停にベンチや上屋、バスロケーションシステムの設定なども共
に求めています。



「市民の足を守る西京連絡会」結成総会
(2012年10月)

阪急の駅や市営住宅の バリアフリー化を すすめよ



阪急嵐山線の駅のバリアフリー化は地元の方たちの願いです。私は京都市のバリアフリー計画の対象とするよう求めるとともに、地域の方と阪急本社にも要請してきました。今年度から上桂・松尾大社・嵐山駅のバリアフリー化計画がすすめられることになりました。本当によかったです。

また、市営住宅へのエレベーター設置についても、委員会で繰り返し求めてきました。現在、樫原団地で計画が進められています。他の団地についても、エレベーター設置・バリアフリー化を引き続き求めます。

「イオンモール桂川」出店 商店街への 影響調査等を要求

キリンビール工場跡地に出店が予定されている「イオンモール桂川」は、店舗面積が約5万3000㎡で府内最大規模。広大な地域で商店やまちづくりには大きな影響が予想され、早朝から深夜におよぶ営業時間や交通渋滞も含めて、住民の方々から不安の声が広がっています。

商店街への影響調査等を求め、住民の声が反映するまちづくりをすすめていきます。



「イオンモール桂川」の出店を考える意見交流会
(2013年12月)

「子育て支援」 安心して育ち、 育てられる街に



子どもの医療費 通院も無料化拡充を！

「病気の時ぐらいいお金のことを心配せず
医者に連れていきたい」「双子なのでたい
てい一緒に病気になるので大変…」など、
子育てされている方々の切実な声を聞き
ます。私が保育士の時、子どもの3歳の
誕生日に「3歳になったら医療費もかか
るんですよ」と言われた保護者の言葉
が忘れられません。

子どもの医療費助成が京都府内で一番遅
れているのが京都市。みなさんの運動で少
しずつ改善され、医療費窓口支払いの上限
は3000円までになりましたが、複数の
病院にかかった場合は申請が必要です。命
に関わる施策の実現は待ったなし。至急実
現をと繰り返し議会でも求めてきました。せ
めて義務教育の間ぐらいいは医療費無料に！
と引き続きがんばります。

保育料・学童保育利用料を 値上げするな

昨年2月市会の代表質問で、保育料や学
童クラブ利用料などの大幅な値上げ提案を
批判。子育て世代の家庭の経済的負担の軽
減は強い要望であり、保育園連盟などから
も毎年要望されている、と指摘。とくに、
保育所と学童クラブの両方を利用する家庭
への負担はさらに大きいと撤回を求めまし
た。保護者や市民から一万筆をこえる「値



市役所前での
座り込み



保護者から
保育署名の提出
(2013年3月)

上げ反対」署名や要望が寄せられ、学童ク
ラブ利用料は1年間すえおきとなりました。

全員にあったかい 中学校給食を

京都市の中学校給食は、希望する生徒だ
けが食べる選択制で、喫食率は3割。市は
「家庭からの愛情弁当の効果が大きい。喫食
率を上げるとい目標はない」と言ってい
ます。学校給食法も改正され、給食を通し
た食教育が重要です。何より、育ち盛りで、
部活動でも体力を使う中学生の時期にバラ



中学校での給食の配膳

ンスのとれた食
事は欠かせませ
ん。思春期の多
感な時期、給食
を申し込むのに
子ども自身が
気を遣うと言
います。だからこ
そ「全員にバラ
ンスのとれた温

少人数学級、 施設整備をすすめよ

かい給食を」の願いは切実で、毎年、保護者・
市民から署名や請願が出されており、請願
採択を求めてきました。

2011年11月市会の代表質問で、トイ
レがない校舎や雨漏り、1日で15センチ水
位が下がるプール等の実態を示して教育環
境を整備せよと追及。また、学校経常運営
費の減少が子どもたちにしわ寄せされてい
ることを指摘しました。さらに、当面、小
学校3年生以上も35人学級に踏み出すよう
求めました。

教育長は、「雨漏りは緊急に修繕してい
る」と答弁。少人数学級については、「国
に要望する」と述べるにとどまりました。

就学援助の充実、 教育費の父母負担軽減を

「どの子も安心して学べるように」は親

の切実な願いです。私は2012年9月の
決算特別委員会で、就学援助の充実など
について質疑しました。「教育の機会均等」
の観点から、教育費の負担軽減がもっと必
要だと指摘し、他都市では給食費無料など
保護者負担を軽くする取り組みがおこなわ
れていることを紹介して、踏み込んだ取
組みの検討を求めました。

つぎやき

福島県のさくら
保育園に行った。



園庭には放射能測定器、水入りペットボトル
が敷き詰められていた。自然が一杯の福島、子
どもたちが大好きな散歩は原発事故以前のよ
うにはできなくなっている。食する野菜もダ
ンゴムシも「何でも放射線量を測る」と園長先
生。南相馬で聞いた「放射能色色さついでねえ
からな。原発さえなかったら」の言葉を思い出
した。

安全な原発はない。原発再稼働ノー！！

福祉の後退を許さない



洛西ふれあい会館の 存続を 廃止に反対したのは日本共産党だけ

昨年5月市会に、洛西ふれあいの里保養研修センター（ふれあい会館）を廃止するための条例が提案されました。



「どうなるの？ ふれあい会館市政報告懇談会」(2013年6月)



ふれあい会館

党議員団は廃止提案の撤回を市長に申し入れるとともに、検討段階から「ここがなくなったら活動できなくなる」などの利用者や地元の声を議会に届け、存続を求めました。

施設の存続を求める要望書、請願・陳情も出され、私は閉会本会議で、日本共産党議員団を代表して、ふれあいの里保養研修センター廃止に反対する討論をおこないました。

「存続を求める多数の声を受け止めた真摯な検討がされていないこと、バリアフリーを必要とされている障害者の意見が反映されていないこと、地元の説明がされていないことは大問題」「高齢者・障害児者・地元利用者になくしてはならない施設の廃止は絶対に認められない。存続すべき」と訴えました。廃止条例に反対したのは日本共産党議員団だけで、他会派は何も言わずに賛成し、廃止が可決されました。

6月に地元で開いた市政報告懇談会には約40人の方が参加され、「保養研修センターがなくなると困る」「市の結論ありきのや

り方はおかしい」など、存続を求める声が次々に出されました。

市営保育所の 民間移管をやめよ

京都市は、単独乳児保育所や公営保育所の多い南区などで、市営保育所の民間移管をすすめています。

昨年2月市会の代表質問で、公営保育所の民間移管で一番影響を受けるのは子どもたちだと指摘。公営保育所は、途中入所や一時保育、アレルギーや障害児の受け入れ、虐待対応、地域の子育て支援など、なくてはならない施設だと主張し、数少ない公営保育所の民間移管は公的責任の後退だと撤回を求めました。

国民健康保険 保険証の取りあげやめよ。

保険料引き下げを！

「高すぎる国保料を下げしてほしい」とい

う市民の声を聞かず、連続赤字が出ても値上げし、滞納者から保険証を取り上げ、財産差し押さえを強める京都市はひどすぎます。真面目に分納していても「差し押さえ通知が来た」という相談はたくさん寄せられます。「保険証の取り上げやめよ。払える保険料に引き下げよ」と委員会や本会議で求めてきました。

「市民の宝」・敬老乗車証は 改悪ではなく、拡充を

京都市は、敬老乗車証を乗るたびに料金を負担する制度に変えようとしています。

昨年9月、自治体要求連絡会・年金者組合主催の「敬老乗車証を守ろう！ 市民集会」は170人をこえる参加があり、「敬老乗車証があるから出かけられる」「他県から引越してきた。『京都には敬老乗車証がある。もらったか』と声をかけられる。宝のように思っておられる」など次々に熱い思いが語られました。

西京区内からも多数が参加され、「民営バ



年金者組合の方といっしょに宣伝

スにも敬老乗車証が使えるように」と積年の要求が語られました。私は、神戸市が応益負担の制度になって高齢者の外出が減ったこと、名古屋市では、敬老乗車証の経済・健康・環境効果が検証されていることなど他都市の調査の報告をおこないました。

みなさんの声で 実現しました

地域でおこなったアンケートに寄せられた声を、担当局などに要望してきました。

交通安全道路の白線整備



通学路の区画線がくっきりと書き直されました。地元自治会の強い要望があったものです。

「草が伸びて泥もたまっている。草刈りや泥あげをしてほしい」との声が寄せられていたもの。2013年度に予算がつきました。

寺戸川の浚渫・草刈り



境谷大橋のバス停が明るくなった



道路幅との関係で少し離れた場所にベンチが、時刻表にはセンサー式の照明もつけられました。

苔寺道のバス停にベンチ設置



ライブ嵐山店舗前のバリアフリー化



側溝の改修工事が完了。ライブ嵐山の理事会の方が、買い物客の立場で改善されました。



松尾大社前バス停に8連のベンチ設置

阪急上桂駅前の舗装



バス停前の道路がデコボコで、「雨の日にハネがあがる」との声があり、土木事務所に要望しました。

「時刻表が暗くて見にくい」との声が寄せられ、妹尾前市議や住民とともに市に要望してきました。「これで時刻表が見やすくなった」と歓迎されています。

阪急桂駅西口の陸橋改修



デコボコが補修され、陸橋下の雨漏りもなくなります。

三ノ宮街道のバス停にベンチ設置



交通局に要望していたものです。

竹の里小学校前に標識設置



上桂駅等のスロープ表示



表示の変わった阪急上桂駅・松尾大社駅のインターホン

つみき保育園前に信号機が設置



府民公募型公共事業にも応募してきました。住民の長年の願いが実ったものです。



竹の里府営住宅の駐車場設備が改善

松尾・みこし街道に信号機設置



長年の要望がみのりました。

市民とともに 市政を動かす

14人の日本共産党京都市会議員団

14人の日本共産党京都市会議員団は、市民のみなさんと力をあわせ、市民いじめの悪い政治とキッパリ対決して、市議会でも強い論戦をおこなうとともに、つねに建設的な対案を示し、みなさんの切実な要求や願いを次々に実現させてきました。



安倍内閣の暴走にストップを

国民の「知る権利」を奪う秘密保護法の強行成立、消費税増税、社会保障解体、TPP強行、原発推進など、安倍自公政権は、あらゆる分野で暴走を続けています。共産党議員団は、安倍政権の暴走にストップをかける国民的運動の先頭に立つとともに、門川市長に対し「市民のくらしを守る立場から国に対し物を言うべき」と迫ってきました。しかし、市長は国いなりで、消費税増税や社会保障解体も推進の立場です。市長与党も昨年11月市会に56団体から出された「増税中止」の請願を不採択にしました。

秘密保護法は廃止すべき



4月からの消費税増税中止を

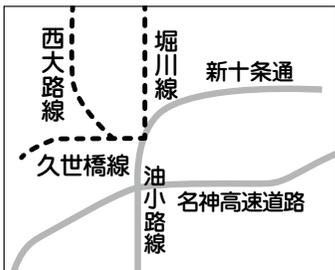


ムダな大型公共事業をストップさせる

共産党議員団は、試運転開始後もトラブルが続いた焼却灰溶融施設について、「技術的に未完成の施設であり、ムダづかいの典型だ」と批判。市民のみなさんとともに「稼働中止」を求めてきましたが、昨年8月に住友重工との「工事契約解除」に追い込みました。

高速道路未着工3路線

共産党議員団は、ムダと環境破壊の市内高速道路建設に当初から反対してきました。残る未着工3路線（堀川線・西大路線・久世橋線）の総事業費は2900億円。計画の中で、「計画の中止を繰り返して求めてきましたが、2012年3月の市議会でも、市長は事実上、「廃止」を表明しました。



未着工3路線

市民サービス切り捨て、職員削減の「京プラン」は撤回を

4年間で250億円の福祉・教育予算を含む経常経費を削る「京（みやこ）プラン」実施計画は、国の構造改革路線をそのまま京都に持ち込むもので、くらしを守るためには、「京（みやこ）プラン」の撤回が必要です。

市バス・地下鉄運賃、水道料金の値上げ中止を

消費税増税にあわせた市バス・地下鉄運賃の値上げ、上下水道料金の値上げが提案されましたが、これに反対して議会で論戦をおこなったのは日本共産党だけでした。他党派・無所属の議員は、昨年10月からの水道料金値上げも含め、すべての値上げ提案に賛成しました。



「市民の宝物」敬老乗車証を守れ

敬老乗車証について、京都市は、乗るた

台風18号被害への緊急対策と復旧支援に全力

市内にも大きな被害をもたらした昨年台風18号。共産党議員団として、200カ所をこす被害現場を調査し、緊急の対策と復旧支援などについて、京都市に3次の申し入れを行いました。



台風18号の被害対策について京都市に申し入れ

びに一定のお金を払う「応益負担」の制度に変えようとしており、「敬老乗車証を守れ」の市民のたたかいは大きく広がっています。昨年9月に開催された「敬老乗車証を守るう！市民集会」には170人が参加。今年2月までに、市長に対して8388筆の要望署名が提出されました。



焼却灰溶融施設——契約解除

共産党議員団は、試運転開始後もトラブルが続いた焼却灰溶融施設について、「技術的に未完成の施設であり、ムダづかいの典型だ」と批判。市民のみなさんとともに「稼働中止」を求めてきましたが、昨年8月に住友重工との「工事契約解除」に追い込みました。

みなさんと力をあわせ、切実な要求を次々に実現

市営住宅の風呂がまは京都市の責任で取り替えに
 請願の紹介議員になったのは共産党だけ。毎年、市に要望してきました。

市バス均一運賃区間が嵯峨・嵐山地域に拡大

10年来の地域住民のねばり強い運動と市議会での論戦が実ったものです。

西賀茂北部の柵野に市バス路線が走ることに

西賀茂車庫までの市バス路線延長を求めてきた住民の悲願が実現したものです。

JR太秦駅、阪急西院駅等でバリアフリー化が前進

2014年度はJR桃山駅、阪急嵐山・松尾大社・上桂駅で基本構想が策定されます。